

土佐塾 4年連続V

17トライ 99-0で高知工降す



県予選

第95回全国高校ラグビーフットボール大会



土佐塾—高知工 前半23分、土佐塾WTB竹嶋が右中間にトライ—高知市春野町芳原の県立春野総合運動公園球技場で

県予選(県高体連、県ラグビー協会主催、毎日新聞高知支局後援)の決勝が15日、県立春野総合運動公園球技場(高知市)であった。土佐塾が17トライの猛攻で99-0で高知工を降し、4年連続15回目の優勝を決めた。土佐塾は12月27日に東大阪府花園ラグビー場で開幕する全国大会に出場する。組み合わせ抽選

会は12月5日に毎日新聞大阪本社オバルホール(大阪市北区)である。【岩間理紀】

高知工	反6
00000	00000
TGPD前	TGPD後
710037	1060062
土佐塾	反4
	99計0

指示徹底できた

土佐塾・西村保久監督 ノーノックオンの徹底など、試合前の指示が徹底できたことは評価できる。ここからもう一度気合を入れて、いかに現状にプラスできるか。全国に向けて一つ一つプレーの精度を上げたい。

竹嶋選手7T

土佐塾は序盤、22分ライン付近まで攻め込みながら得点を逃す場面が続いたが、前半4分、ラインアウトから左へ展開し、SO片岡倫選手(2年)がテイフェンスラインの裏を狙いキック。拾ったボールをFB高橋海維選手(3年)が「もう一度ここから立て直す」と相手のフォワードを引きずりながらイ

質を上げ全国へ

土佐塾・竹下雅教主将 序盤はプレーが硬く攻めあぐねたが、徐々に自分たちの得点パターンに持ち込み、声掛けなども徹底できたことが大きい。目標の全国大会での1勝に向けて、さらにプレーの質を上げていきたい。

ンゴールに飛び込んだ。この先制トライで主導権を握ると、同11分、15分にはCTB竹下雅教主将(3年)がタックルを受けながらも力強く連続トライ。同23分、26分、30分にはWTB竹嶋大貴選手(2年)がスピードを生かして3連続トライ。縦の突破でボールを敵陣深くに運び、走力のあるバックスにつなぐ得意の攻撃で前半だけで計

経験次の世代へ

高知工・飯田努監督 相手は何枚も上手だったが、きちんとしたボールのキープや全員での守備など取り組んできた成果は出せたと思う。3年生が3人と若いチームなので、この経験をまた次の世代につなげていきたい。

7トライ。勢いは止まらず、後半21分には竹嶋選手が、相手のミスからこの試合一人で7本目となるトライを中央に決めるなど、最後まで圧倒した。

高知工は序盤、土佐塾の猛攻をFL池上元基主将(3年)を中心に体を張って防ぎ、後半20分過ぎには連続ラックでインゴールに迫る粘りを見せたが、土佐塾の分厚いディフェンスに阻まれた。

意識統一足りず

高知工・池上元基主将 競った場面でディフェンスラインを上げて前に出るなど、作戦面でもっと意識を統一しなければいけなかった。後輩たちには気持ちの一つに取り組み、強豪にも対抗できるチームを作ってほしい。